

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「AKパソコンクラブ」

年金受給者を対象に、パソコンを通じて会員のパソコン知識の向上や親睦を図ることを目的に、平成15年2月に設立。公民館を利用し「一から始めるエクセル」「ホームページの作成」などの講習会を月6回程度開催するほか、デジタルカメラ撮影会を毎月実施し、会員相互の親睦を深めながら活動する「AKパソコンクラブ」を岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。8月を迎え、毎日猛暑が続いています。節電対策とともに健康管理、熱中症にも十分気をつけてください。今月の市長のふれあい訪問は、上青木公民館を中心に活動する「AKパソコンクラブ」のみなさんです。どうぞよろしく願います。

はじめに、AKパソコンクラブの「AK」とはどのような意味があるのですか。

柴田 明るい川口（AKARUI KAWAGUCHI）パソコンクラブという意味です。

市長 わかりやすくいい名前ですね。

柴田 Aが付いているとインターネットの検索でも最初に来る利点がありますので。

市長 なるほど、深い意味もあるのですね。それで、この団体はいつ設立されたのですか。

大沢 平成15年2月に設立しました。

貝森 きっかけは、年金受給者協会川口分会のサークル活動の



一環として、パソコンクラブを作ろうということになったのが始まりです。

市長 会員は何人くらいいるのですか。

山田 現在60人で活動しています。余暇でパソコンや自作のホームページを始めた方、町会の役員をしていて、チラシや会計報告書を作成するために講習会に参加するようになった方などで構成されています。

市長 年金受給者協会の会員でなければ入会できないのですか。

貝森 今まではそうでしたが、6月にNPO法人になり、誰でも参加できるようになりました。

市長 このクラブでは具体的にどのような活動をされているのですか。

柴田 メインは月に6回、公民館やかわぐち市民パートナーズセッションを借りて、講習会を開催しています。最初はパソコン同好会をと思いましたが、初心者の方が多く、講習会形式にしました。

市長 なるほど。設立当時のみなさんの年代では普通にパソコンを使えるという方は少ないですよ。

橋本 そうですね。ほかのパソコン講習会で2年間勉強しましたが、一人でできるまでにはなりませんでした。このクラブに入ってもう一度基礎から教えてもらい、パソコンの操作がわかるようになりました。

市長 講習会の講師は誰がされるのですか。

山田 講師も、講習会のサポートをする人もみんな会員が行っています。

市長 講習会のほかに、デジタルカメラの撮影会も行っているという感じが。

大沢 月に1回、いろいろな場所に行つて撮影会を開催し、帰りには懇親会も行つて親睦を深めています。

貝森 また、年に1回撮影会を兼ねた旅行も開催しています。

市長 楽しそうですね。ところで平均年齢は何歳くらいですか。

山田 平均71歳で、最高齢は90歳です。

市長 パソコンは、キーボードを叩き指先を使うので、認知症予防にもいいのではないですか。



橋本 すごく効果があると思います。

市長 平均寿命は男性が79歳、女性が86歳といわれています。定年退職してからの長い期間を充実して過ごすためには、生きがいや良い仲間を持つことがとても大事なことです。「AKパソコンクラブ」はそのモデルケースだと思えます。それでは今後の抱負をお聞かせください。

柴田 9月から初心者パソコン教室を始めます。一緒にパソコンのふたの開け方、あいうえおの打ち方から始めようと考えています。ぜひ、多くのみなさんに参加していただきたいのでよろしく願います。

市長 参加したい方はぜひ連絡してください。今日は暑い中ありがとうございました。これからも頑張ってください。